令和５年度　全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組について

廿日市市立佐方小学校

【令和５年度全国学力調査平均通過率】

国語	全体	話す・聞く	書く	読む	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項
本校（佐方小）	７０	７５．９	２５．５	７５．５	７８．３	５７．４
広島県	６９	７５．１	２９．０	７３．３	７２．６	６３．９
全国	６７．２	７２．６	２６．７	７１．２	７１．２	６３．４

算数	全体	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
本校（佐方小）	６４	６９．０	４９．７		７１．３	６６．７
広島県	６４	６８．１	４９．３		７１．４	６７．７
全国	６２．５	６７．３	４８．２		７０．９	６５．５

これまでの取組により，国語・算数において教科全体の通過率が全国平均を上回っており，概ね学習内容は定着していると思われます。しかし，国語では，「書くこと」の領域と「情報の扱い方に関する事項」で県平均を下回っています。算数では，「変化と関係」と「データの活用」の領域で県平均を下回っています。

【重点課題と今後の取組】

〈国語〉

・情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。
２の三（通過率　５５．３％）
・目的や意図に応じ，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめる。
１の二（通過率　６８．１％）

▼情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がありました。
⇒高学年では，図や資料を文章と結び付けて，文章を正しく捉えさせることや，複数の資料を読み，必要な情報を関係付けながら，目的に応じて活用することができるよう指導します。

▼話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめることに課題がありました。
⇒表などを使い，自分の話したい意見や友達の意見を整理してまとめる等，工夫して指導していきます。

〈算数〉

・（２位数）÷（１位数）の筆算について，図を基に，各段階の商の意味を考えることができる。

３の（４）（通過率　４２．６％）

・百分率で表された割合について理解している。

４の（１）（通過率　４３．６％）

▼６６÷３の筆算の仕方を説明した図を基に，筆算の商の十の位に当たる式を選ぶことに課題がありました。

⇒全学年において，計算の仕方や手順を理解するだけでなく，数の構成を理解し，計算の仕方を説明する力が付くよう指導します。

▼示された基準量と比較量から，割合が３０％になるものを選ぶことに課題がありました。

⇒・問題の場面を解釈し，数量の倍関係を捉えられるように，関係図やテープ図に表して整理したり，説明したりする力が付くよう指導します。

・５年生の割合の学習では，日常生活や具体物を扱い，意味理解を図るようにします。